

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	コンピュータ概論ⅠA(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修	
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。						
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(3級)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	【第0章】シラバスの説明、サーティファイ情報処理検定3級について				1	
	2	【イントロダクション】第1節コンピュータとは				2	
	3	【1章】コンピュータの基礎知識				1	
	4	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)				8	
	5	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)				9	
	6	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)				9	
	7	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)				9	
	8	【6章】マルチメディア				2	
	9	【7章】AI(人工知能)				5	
	10	【8章】アルゴリズムとデータ構造				4	
	11	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				12	
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					62
	教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。						
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト20pt、検定対策模擬試験30pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅡA(マネジメントと情報化)	担当者	赤嶺 和人		科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定3級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション:科目概要、目的、目標、シラバス、テキスト解説				2
	2	第1章 システム開発とマネジメント				22
	3	第2章 サービスマネジメントとシステム戦略				10
	4	第3章 企業と経営戦略				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				15
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				61	
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅢA(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 データベース				
	2	1節 データのモデル化				2
	3	2節 データベース設計				2
	4	3節 データの正規化				2
	5	4節 SQLの基本				2
	6	5節 SQLの応用				2
	7	6節 データベースの演算				2
	8	7節 データベース管理システム				2
	9	8節 データベース応用				2
	10	章末テスト データベース レポート形式				2
	11	第2章 ネットワーク				
	12	1節 ネットワーク方式				2
	13	2節 OSI基本参照モデル				2
	14	3節 TCP/IPプロトコル				2
	15	4節 IPアドレス				2
	16	5節 ネットワーク管理				2
	17	6節 TCP/IPアプリケーション				2
	18	7節 ネットワーク応用技術				2
	19	章末テスト ネットワーク レポート形式				2
	20	サーティファイ情報処理検定3級対策授業				10
	21	第3章 情報セキュリティ				
	22	1節 情報セキュリティ				2
	23	2節 システムへの攻撃手法				2
	24	3節 暗号化技術				3
	25	4節 認証技術				3
	26	5節 セキュリティ技術				2
	27	6節 セキュリティリスク				2
	28	7節 セキュリティ管理				2
	29	章末テスト ネットワーク レポート形式				2
	30					
	合計時間数					
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラム設計ⅠA	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。				
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。				
授業計画	内 容			授業時間数	
	1	第1章 アルゴリズム入門	アルゴリズムとは データ型 領域の概念 基本構造	4	
	2	第2章 流れ図の基本パターン	流れ図 連続型 選択型 反復型	4	
	3	第4章 計算のアルゴリズム	合計平均 べき乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題	8	
	4	第6章 配列操作	1次元配列 配列の異動 2次元配列 練習問題	8	
	5	第3章 疑似言語の基本パターン	疑似言語とは 疑似言語の表記法	1	
	6		疑似言語の言語部分 疑似言語の処理部分 練習問題	2	
	7	第5章 手続・関数	手続・関数とは 変数のスコープ 引数と戻り値 練習問題	2	
	8	第7章 探索のアルゴリズム	探索処理とは 線形探索 ブロック探索	6	
	9		2分探索 ハッシュ探索 練習問題	6	
	10	第8章 整列のアルゴリズム	整列処理とは 基本選択法 基本交換法 基本挿入法	9	
	11	練習問題(サーティファイ情報処理2級2部_疑似言語・基本情報技術者試験_疑似言語)		10	
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数			60	
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価方法	出席評価点10pt、チェックテスト50pt、評価テスト20pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語 I A (Java)		担当者	喜友名 航	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。					
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)				2
	2	第0章 Javaとオブジェクト指向				1
	3	第1章 Javaの基礎-Javaとは				1
	4	第1章 Javaの基礎-プログラムの構造確認				1
	5	第1章 Javaの基礎-演算子を使った計算、演算子の優先順位				2
	6	第1章 Javaの基礎-変数を使ったプログラム				2
	7	第1章 Javaの基礎-標準入力				2
	8	第1章 Javaの基礎-型変換				2
	9	第2章 分岐-条件分岐とは				1
	10	第2章 分岐-if文、if文の分岐を増やす、if文のネスト				2
	11	第2章 分岐-複数の条件を組み合わせる				2
	12	第2章 分岐-switch文				2
	13	第3章 繰り返し-繰り返しとは				2
	14	第3章 繰り返し-for文、多重ループ				2
	15	第3章 繰り返し-while文、do-while文、繰り返しの応用				2
	16	第3章 繰り返し-配列				2
	17	第4章 クラスとメソッド-クラスとインスタンス				2
	18	第4章 クラスとメソッド-メソッドの定義				2
	19	第4章 クラスとメソッド-クラスのメンバ、staticメンバ				2
	20	第5章 カプセル化-カプセル化とは				1
	21	第6章 クラスの継承-継承とは				1
	22	第6章 クラスの継承-スーパークラスとサブクラス				1
	23	第6章 クラスの継承-ポリモフィズム				1
	24	第9章 クラスライブラリ(Stringクラス、Integerクラス、列挙型)				4
	25	検定対策_演習(基本文法を用いたプログラム作成、コマンドライン引数など)				2
	26	検定対策 (Java言語3級対策、模擬試験の実施、解説)				16
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				60
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集					
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)					
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー実習		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	・ビジネスにおいて必要不可欠なIT知識・パソコン操作を網羅し、実務に直結した知識・技術を習得する。					
到達目標	・ホームポジションでタイピングできる。 ・効率的なパソコン操作ができる(ショートカットキーの利用やデータ整理など) ・PowerPointの基本操作ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章Windows11を使い始める				2
	2	第2章Windows11の基本操作を知る				2
	3	第3章文字入力の基本をマスターする				2
	4	第4章ファイルとフォルダーを自在に扱う				2
	5	第5章インターネットを快適に利用する				2
	6	第6章コミュニケーションツールを活用する				3
	7	第7章クラウドサービスを使いこなす				3
	8	第9章写真や動画を取り込んで編集する				3
	9	第10章さまざまな周辺機器を使用する				3
	10	第11章Windows11を使いこなすテクニック				3
	11	PowerPoint操作練習				6
	12	発表用スライド作成				8
	13	プレゼンテーションの実施				3
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	2025年度版やさしい教科書一冊に凝縮Windows11 Home/Pro対応					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題・演習問題					
成績評価方法	課題提出40pt、文章入力スピード20pt、プレゼン発表20pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナーⅠA		担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける					
到達目標	・笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する ・立場の違いを考えた言葉遣いができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要性)				4
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習)				3
	3	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)				2
	4	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)				2
	5	【練習問題】				
	6	尊敬語と謙譲語の混同				2
	7	二重敬語				1
	8	確認テスト				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円＋税 ウイネット)					
時間外学習	なし					
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅠ	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方を知る				
到達目標	1. 社会人に必要な知識、意識を身につけ、学生と社会人のメリハリをつけて行動できる。 2. 自己分析を行い、自身のPRができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	就職活動の基礎を整える(身だしなみ、社会人としての心構え)			4
	2	就職活動の基礎を整える(履歴書の準備)			5
	3	就職活動の基礎を整える(業界研究)			3
	4	就職活動の基礎を整える(自己分析)			5
	5	面接の流れロールプレイング①			5
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	就職活動の進め方(KBC学園)				
時間外学習	授業の復習。提出課題作成。企業研究や自己分析に対する意識向上。				
成績評価方法	授業態度20pt、レポート提出30pt、模擬面接会結果50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅰ		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。					
到達目標	・相手を尊重した行動ができる ・相手の意見を傾聴し、受け入れることができる ・心を込めた挨拶ができる ・感謝の気持ちを相手に伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章:感謝				2
	2	第2章:感動				2
	3	第3章:思いやり・気くばり				2
	4	第4章:明朗				2
	5	第5章:挨拶				2
	6	第6章:素直				2
	7	第7章:プラス思考				2
	8	第8章:チャレンジ精神				3
	9	第9章:永久戦力				2
	10	志学Ⅰ まとめ、振り返り				2
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	授業態度30pt、科目終了後の授業レポート70pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論 I B(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(2級1部)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【2章】コンピュータの数値表現				5
	2	【4章】システムの構成要素				4
	3	【5章】ソフトウェア				4
	4	【8章】アルゴリズムとデータ構造				2
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				18
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト20pt、検定対策模擬試験40pt、検定試験得点30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅡB(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 OR・IE				7
	2	第5章 企業会計				3
	3	第6章 法務と標準化				6
	4	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					40
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅢB(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	・システム開発における開発プロセスや要件定義、設計に関する知識を学ぶ。 ・ソフトウェア開発における要件定義、設計構築、テスト、受入れ支援、保守に関する知識を学ぶ。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 ユーザーインターフェース				
	2	1節 ユーザーインターフェース				3
	3	第5章 システム開発技術				
	4	1節 システム開発とは				3
	5	2節 システム開発のプロセス				3
	6	3節 システム要件定義				3
	7	4節 システム設計				3
	8	5節 ソフトウェア要件定義				3
	9	6節 ソフトウェア設計				3
	10	7節 ソフトウェア構築				3
	11	8節 統合・テスト				3
	12	9節 導入・受入れ支援と保守				3
	13	10節 ソフトウェア開発手法				3
	14	章末テスト ユーザインターフェース・システム開発技術				3
	15	サーティファイ情報処理検定2級1部対策授業				9
	16	サーティファイ情報処理検定2級2部対策授業				5
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				50
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(2級)、情報処理技術者試験科目A/B模擬試験問題集					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラム設計ⅠB		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。					
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第8章 整列のアルゴリズム その他の整列方法 練習問題				6
	2	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン オブジェクト指向とは				1
	3	オブジェクトとクラス オーバードーズ 継承 練習問題				2
	4	第10章 データ構造 データ構造の概要 配列 リスト				10
	5	スタックとキュー 木構造 練習問題				7
	6	第11章 実践アルゴリズム 基数変換 経路選択				2
	7	文字列探索 順位付け				2
	8	文字列の比較 逆ポーランド記法				2
	9	サーティファイ情報処理2級2部検定対策				16
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				48
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造					
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度					
成績評価方法	出席評価点10pt、検定取得40pt、評価テスト30pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラミング言語 I B (Java)		担当者	喜友名 航	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。					
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 クラスとメソッド(前期おさらい(メソッド、メンバの復習))				1
	2	第4章 クラスとメソッド(オーバーロード、ジェネリクス)				2
	3	第5章 カプセル化(カプセル化、アクセス修飾子)				2
	4	第5章 カプセル化(コンストラクタ)				2
	5	第5章 カプセル化(パッケージ)				2
	6	第6章 クラスの継承(継承、スーパークラスとサブクラス)				2
	7	第6章 クラスの継承(オーバーライド、抽象クラスと抽象メソッド)				2
	8	第6章 クラスの継承(サブクラスからスーパークラスへのアクセス、継承と修飾子)				2
	9	第6章 クラスの継承(ポリモフィズム)				2
	10	第7章 クラス応用(インタフェース、定義と継承、クラス継承とインターフェースの実装)				4
	11	第7章 クラス応用(内部クラス、ローカルクラスと無名クラス、ラムダ式)				3
	12	第8章 例外クラス(エラーとは、try-catch文、finally文)				3
	13	第8章 例外クラス(throw文、throwsキーワード)				2
	14	第9章 クラスライブラリ(文字列、日付、正規表現、数値操作、列挙型)				4
	15	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションフレームワーク)				2
	16	第10章 コレクションフレームワーク(List)				2
	17	第10章 コレクションフレームワーク(Set)				2
	18	第10章 コレクションフレームワーク(Map)				2
	19	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションとラムダ式、API)				2
	20	第11章 ファイル操作(ファイル操作の基本、入出力とストリーム、ファイルの読み書き)				3
	21	第11章 ファイル操作(効率化、文字コード指定、区切り文字ごとの読み込み)				3
	22	第12章 マルチスレッド(マルチスレッド、Threadクラス、Runnableインタフェース)				3
	23	検定対策(Java言語2級対策、模擬試験の実施、解説)				18
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				70
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集					
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)					
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ演習		担当者	山下 修	科目必修区分	必修
授業概要	下期の国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」合格に向けて試験対策を実施する。 情報セキュリティマネジメント試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。 また、対策問題だけでなく、セキュリティに関する動画視聴を行い、グループワークによる意識向上を図るとともに、セキュリティマネジメント試験に関連知識についても学習する。					
到達目標	・グループワークを通してセキュリティに関する意識向上および知識定着。 ・情報セキュリティマネジメント試験の合格。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)				1
	2	演習:動画視聴およびグループワーク①				3
	3	演習:今年度(下期対策)試験(午前)①				3
	4	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)①				3
	5	演習:動画視聴およびグループワーク②				3
	6	演習:今年度(下期対策)試験(午前)②				3
	7	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)②				3
	8	演習:動画視聴およびグループワーク③				3
	9	演習:今年度(下期対策)試験(午前)③				3
	10	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)③				3
	11	演習:動画視聴およびグループワーク④				3
	12	演習:今年度(下期対策)試験(午前)④				3
	13	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)④				3
	14	演習:今年度(下期対策)試験(午前)				3
	15	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)				3
	16	演習:今年度(下期対策)試験(午後)				3
	17	講義:今年度(下期対策)試験解説(午後)				4
	18	演習:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験対策(午後)				4
	19	講義:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験解説(午後)				3
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				57
教科書	出るところだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 2024年版、IPAサイト					
時間外学習	試験学習サイトの使用					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	キャリアデザインⅡ		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方を知る					
到達目標	1. 就職面接で自己を魅力的に表現できる。 2. 自己分析を行い、自身のPRができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	面接の流れロールプレイング②				5
	2	面接の流れロールプレイング③				5
	3	面接の流れロールプレイング④				5
	4	就職活動の基礎を整える(企業研究)				22
	5	履歴書作成(自己PR、志望動機添削)				12
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	就職活動の進め方(KBC学園)					
時間外学習	授業の復習。提出課題作成。企業研究や自己分析に対する意識向上。					
成績評価方法	授業態度20pt、レポート提出30pt、センスアップセミナー模擬面接結果40pt、出席状況10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナー I B	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける				
到達目標	・笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する ・立場の違いを考えた言葉遣いができる 時の基本的な立ち居振る舞いを身につける ・面接				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	自己PR文の作成のポイント			2
	2	【演習】グループ面接時の入退室・自己紹介			2
	3	【演習】グループ面接(入退室＋質疑応答)			14
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円＋税 ウイネット)				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	情報処理技術者試験演習		担当者	伊禮・喜友名	科目必修区分	必修
授業概要	上期の国家試験「基本情報技術者試験」合格に向けて試験対策を実施する。 基本情報技術者試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。					
到達目標	・演習、講義を通して知識の定着。 ・基本情報技術者試験の合格。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)、アカウント作成				2
	2	演習:模擬試験(科目A①、科目B①)				4
	3	講義:模擬試験(科目A①、科目B①)の解説				6
	4	講義:模擬試験(科目A①、科目B①)の解説				3
	5	演習:模擬試験(科目A②)				3
	6	講義:模擬試験(科目A②)の解説、演習:模擬試験(科目B②)				6
	7	講義:模擬試験(科目B②)の解説				5
	8	演習:模擬試験(科目B③)				5
	9	講義:模擬試験(科目B③)の解説				6
	10	演習:模擬試験(科目B④)				6
	11	講義:模擬試験(科目B④)の解説				6
	12	演習:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題1)				4
	13	講義:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題1)の解説				6
	14	演習:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題2)				6
	15	講義:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題2)の解説				6
	16	演習:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題3)				4
	17	講義:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題3)の解説				6
	18	演習:模擬試験(IPA令和5・6公開問題)				7
	19	講義:模擬試験(IPA令和5・6公開問題)の解説				5
	20	期末テスト(科目A／科目B)				5
	21	期末テスト(科目A／科目B)の解説				6
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				107
教科書	基本情報技術者試験 科目A/B 模擬試験問題、出るところだけ基本情報 科目B、IPAサイト					
時間外学習	試験学習サイトの使用					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅱ(OCJ-P)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Java SE Bronze 試験合格に向けて演習を含めた学習を行う。					
到達目標	・Java言語の基本文法について説明ができる。 ・オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 ・Java言語の上級者の指導のもとで開発作業を行うことができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	シラバス説明・Java開発環境の確認				1
	2	【教科書】第1章 Java言語の プログラムの作成				3
	3	【教科書】第2章 データの宣言と使用				4
	4	【教科書】第3章 演算子と条件文(分岐文)				6
	5	【教科書】第4章 繰り返し文と繰り返し制御文				6
	6	【教科書】第5章 オブジェクト指向コンセプト				2
	7	【教科書】第6章 クラス定義とオブジェクトの生成・使用				6
	8	【教科書】第7章 継承				6
	9	【教科書】第8章 ポリモフィズムとパッケージ				6
	10	【問題集】第1章 Java言語の プログラムの流れ				2
	11	【問題集】第2章 データ宣言と使用				3
	12	【問題集】第3章 演算子と分岐文				3
	13	【問題集】第4章 ループ文				3
	14	【問題集】第5章 オブジェクト指向の概念				2
	15	【問題集】第6章 クラス定義とオブジェクトの使用				3
	16	【問題集】第7章 継承とポリモーフィズム				3
	17	OCJP 模擬試験・解説① Bronze 模擬試験				6
	18	OCJP 模擬試験・解説② Bronze 模擬試験				4
	19	OCJP 模擬試験・解説③ Bronze 模擬試験				6
	20	OCJP 模擬試験・解説④ Bronze 模擬試験				5
	21	OCJP 本番試験 (2025年8月7日木曜日予定)				5
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				85
教科書	【教科書】オラクル認定資格教科書 Javaプログラマ Bronze SE 試験番号1Z0-818 【問題集】徹底攻略Java SE Bronze問題集[1Z0-818]					
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を推奨					
成績評価方法	授業態度20pt、中間試験20pt、模擬試験4回30pt、本番試験(30pt) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	開発実習 I (基礎)		担当者	富士 とよみ	科目必修区分	必修	
授業概要	Java言語でのソフトウェア開発について、統合開発環境(eclipse)の準備や使い方を学び、GUIプログラムやデータベース利用、Webアプリケーション作成などの演習を通し、ソフトウェア開発の下流工程のプログラミング、コーディング、デバッグの技能を習得する。						
到達目標	1. 統合開発環境(eclipse)を使って、コーディング、デバッグができる 2. Java Swing を使ったGUIプログラムを作成できる 3. データベースの利用やWebアプリケーションの作成ができる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	01 授業概要と授業実施前の準備				1	
	2	02 統合開発環境(eclipse)のインストール、設定、動作確認				2	
	3	03 統合開発環境(eclipse)でのコーディング・デバッグ演習				8	
	4	04 基本アルゴリズムのプログラミング演習				20	
	5	05 GUI(Swing)プログラムの基礎知識と演習				20	
	6	06 データベース(MySQL)のインストール、設定、動作確認、テーブル作成演習				6	
	7	08 データベース(MariaDB)のアクセスプログラムDAO (Data Accesss Object) の演習				10	
	8	09 デザインパターンMVC (Model-View-Controller) の基礎知識				8	
	9	11 簡易アプリケーション作成演習				8	
	10	16 Webアプリケーションの基礎知識				10	
	11	17 Webアプリケーション作成演習				10	
	12	予備				1	
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					104
	教科書	自作プリント、スライド					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった演習や課題の作成を行う						
成績評価方法	授業態度(20pt)、授業での演習(40pt)、演習課題(40pt) 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅢ		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。					
到達目標	1. 自己を振り返る手法(自己分析)を理解し習得できるようになる。 2. 社会で活躍するためのスキルを理解し、身に付けるための行動に移すことができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	科目の目的などの説明(履修に対する動機づけ)				1
	2	未内定者 ・履歴書のブラッシュアップと作成 ・自己PRの内容強化 ・志望動機の内容確認 ・面接の練習 ・就職試験受験後の振り返りと対策 内定者 ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施				102
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	合計時間数					103
教科書	KBC学園 就職活動の進め方					
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)					
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)					
成績評価 方法	授業態度20pt、履歴書完成度20pt、取り組み姿勢40p、提出物20pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	Web開発実習Ⅱ(PHP)		担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	・PHPを用いたWebアプリケーション開発を行いながら、Web関連技術の知識を深める。					
到達目標	1,PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる。 2,PHP・MySQLを連携した、簡単なWebアプリケーションの作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				0.5
	2	①1章、心の準備編				0.5
	3	①2章、パソコン設定編				2
	4	①3章、プログラミング編				8
	5	①4章、データベース編				10
	6	②1章、いろいろ準備編				1
	7	②2章、スタッフ管理システムの作成				10
	8	②3章、商品管理システムの作成				10
	9	②4章、スタッフ専用ログイン認証ページの作成				6
	10	②5章、スキルアップ				6
	11	②6章、ショッピングカート機能の作成				15
	12	②7章、注文機能の作成				10
	13	②8章、Excelで注文管理				5
	14	②9章、会員機能の作成				6
	15	作品制作				12
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				102
教科書	①いきなりはじめるPHP入門 ②気づけばプロ並みPHP改訂版					
時間外学習	・オンライン学習教材(Paizaラーニング)					
成績評価方法	授業態度:20pt、実習課題:65pt、作品提出:15pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	データベース入門Ⅰ(OSS-DB)		担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	・PostgreSQLを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSのデータを定義したり、操作するための標準言語であるSQLの書き方を学ぶ。 ・基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を実習を通じて、実践的な学習を行う。					
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	データベースの環境構築				2
	3	SQLによるデータベースの操作『基礎編』				3
	4	SQLによるデータベースの操作『応用編』				6
	5	データ型				1
	6	データベース定義の応用				1
	7	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴				1
	8	2章・データベースの基礎知識				3
	9	3章・インストール				3
	10	4章・標準付属ツール				5
	11	5章・設定ファイル				6
	12	6章・バックアップとリストア				6
	13	7章・基本的な運用管理				4
	14	8章・SQLとオブジェクト				9
	15	9章・組込関数と演算子				3
	16	10章・トランザクション				3
	17	試験対策				16
	18	本試験				4
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					77
教科書	・オープンソースデータベース標準教科書・OSS教科書OSS-DB Silver・Web問題集Ping-t					
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供 Web問題集Ping-tを用いた試験対策					
成績評価方法	授業態度15pt、実習課題40pt、確認テスト15pt、本試験:30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	開発実習Ⅱ(応用)		担当者	山下 修	科目必修区分	選択
授業概要	Spring Frameworkを利用したWebアプリケーション開発を学習する					
到達目標	1. Springを利用して簡単なWebアプリケーション作成できるようになる。 2. Springで採用されている概念を理解する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	Webシステム構成とSpring開発環境				5
	2	開発環境構築				5
	3	(step00) Webアプリケーションを開発するベースとなるspring frameworkを使って、空っぽのアプリケーションを動かす。				5
	4	(step01) Webリクエストを受け取り、Webレスポンスを返すアプリケーションを動かす。MVCのControllerを導入する。(Web API、Rest)				5
	5	(step02) MVCのViewを導入する。				5
	6	(step03) MVCのModelを導入する。				6
	7	(step04) Webページからタスクを入力し、リストに追加できるようにする。(入力データの受け取り方)				6
	8	(step05) Webページからタスクを修正(更新)できるようにする。				6
	9	(step06) Webページからタスクを削除できるようにする。				6
	10	(step07) 例外ハンドラを導入する。(エラーページ)				6
	11	(step08) JDBCテンプレートを導入する。(データベース準備)				6
	12	(step09) Repositoryをメモリ版からPostgreSQL版へ変更する。(データベースを使ったタスク管理)				6
	13	(step10) 表示をリッチにするためにCSSを適用する。				6
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	Spring Boot3プログラミング入門(秀和システム)、テスト(独自)、サンプルプログラムと手順書(独自)					
時間外学習	時間中に動かすことができなかったプログラムを動かすところまで作成する					
	時間中に理解しきれなかったことをネットで調べて理解する					
成績評価方法	授業出席5pt、参加状況25pt、課題提出30pt、テスト結果40pt					
	学校基準により4段階評価する					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ		担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	選択
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する					
到達目標	・身だしなみの重要性を認識し、TPOに合わせ身だしなみを整えることが出来る・名刺の正しい扱い方を身につける(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	社会人としての心構え(学生と社会人の違い、身だしなみ、言葉遣い)				2
	2	尊敬語と謙譲語の使い分け				4
	3	名刺の取り扱い方				
	4	【演習】名刺の受け方・出し方、同時交換の仕方				2
	5	来客応対(応接室や乗り物などの席次)				2
	6	電話応対				
	7	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)				4
	8	【演習】かけ方				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円＋税 ウイネット)					
時間外学習	なし					
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

令和 7 年度		シラバス 学校名: 国際電子ビジネス専門学校			
学科・学年	情報システム科(2年制)2年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	Web開発実習Ⅲ(JS&Laravel)	担当者	赤藤 達也	科目必修区分	選択
授業概要	動画教材(Udemy)を利用してオンデマンド形式の授業を体験。 フレームワークを利用した簡単なWebアプリ構築の実習を行う。				
到達目標	1、フレームワークを使ったプログラミングが書けるようになる 2、Webアプリケーション制作を通してMVCモデルを理解する				
授業計画	内 容				授業時間数
1	導入(授業の進め方、評価方法)、Udemyアカウント登録、ブックマーク、環境確認と必要ツールのインストール作業				2
	Laravel入門(動画時間:19分) 131:Laravelのインストール 132:Laravelの初期設定 133:Laravelキャッシュのクリア方法 134:Laravelデータベース設定 135:Laravelデータベース接続確認 136:Laravelの概要 137:Laravelルート、ビュー 138:Laravel Artisanコマンド 課題1(Laravelのインストールを行い、画面に「Hello!!」を表示)				4
2	Laravel入門(動画時間:23分) 139:Laravelモデル 140:Laravelマイグレーション 141:Laravel thinker 142:Laravelコントローラ 143,144:Laravel MVCモデルの記述方法 145:ヘルパ関数 146:コレクション型 課題2(動画:144の演習を実施)				4
	Laravel入門(動画時間:69分) 147:クエリビルド 148:ファサード 149:起動処理DIとサービスコンテナ 150:ブレード(Blade) 151:フロントエンド 152,153:追加動画 154:Laravel-uiと認証 155,156:追加動画 課題3(動画:154の演習を実施)				2
3	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:19分) 157:概要モデル・マイグレーション 158:マイグレーション・追加とロールバック 159:Restfulなコントローラ 課題4(演習実施後、提出)				3
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:26分) 160:ルーティング(グループ・認証) 161,162:動画視聴 課題5(演習実施後、提出)				4
4	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 163:Create新規登録 課題6(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 164:StoreとRequest保存の前に 課題7(演習実施後、提出)				2
5	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:4分) 165:Store保存 課題8(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 166:DBに保存されているデータの取得 課題9(演習実施後、提出)				2
6	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:10分) 167:show表示画面 課題10(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 168:edit編集画面 課題11(演習実施後、提出)				2
7	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:3分) 169:update更新画面 課題12(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 170:destroy削除機能 課題13(演習実施後、提出)				2
8	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 171:サービスへの切り離し(ファットコントローラ防止) 課題14(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 172:バリデーション(フォームリクエスト) 課題15(演習実施後、提出)				2
9	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 173:ダミーデータ(シーダ) 課題16(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 174:ダミーデータ(Factory&Faker) 課題17(演習実施後、提出)				2
10	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 175:ページネーション 課題18(演習実施後、提出)				2
	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 176:検索フォーム 課題19(演習実施後、提出)				2
11	アプリケーション作成1 PaizaのLaravel入門を視聴しながら、アプリケーション作成 演習実施後、提出				12
	アプリケーション作成2 PaizaのLaravel入門を視聴しながら、アプリケーション作成 演習実施後、提出				12
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
合計時間数					71
教科書	動画教材Udemy「PHPからLaravelまでサーバーサイドをことごとくやってみよう」				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度:20pt、実習課題提出点(提出期限内pt含む):80pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅠA(チャレンジコース)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する					
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	目標の設定および進捗方法の確認				64
	3	目標を進める				
	4	進捗率の確認				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
		合計時間数				
教科書						
時間外 学習	各自目標を進める					
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						